

富士山を学び、守る

発行：富士山ボランティアセンター

奇数月15日発行

富士山憲章

ニュースレター

2008.

1

No.85



あけまして
おめでとーな年になります

山中湖・平野から見たダイヤモンド富士

富士山憲章制定10周年を迎えて

あけましておめでとうございます。富士山の自然環境等の保全の理念や環境保全のための行動規範を示すことにより、皆さんに富士山の環境保全への協力を呼びかけ、国民的な規模で保全運動の展開を図っていくことを目的に、山梨・静岡両県により制定された「富士山憲章」も今年の11月18日で満10周年を迎えます。

この間、富士山憲章山梨県推進会議では、富士山憲章の普及・定着を図り、全国的な富士山環境保全運動の展開を図るため、ホームページ上での情報発信や富士山頂、五合目、山麓部や大都市等でのキャンペーンを実施してきました。また、県では民間団体の協力による富士山麓環境美化推進ネットワークの設置、富士山レンジャーの設置、山小屋トイレの整備補助など、富士山北麓市町村等による清掃活動や不法投棄防止パトロールの実施、民間団体やボラ

ンティアによる清掃活動も活発に行われるなど、富士山の環境保全を図る様々な取り組みが行われています。さらに富士山の世界文化遺産登録への取り組みが進んでいる中、富士山の環境保全への意識は、今後ますます高まっていくと期待されます。

富士山ボランティアセンターでは、富士山憲章制定10周年という区切りの年を迎えるにあたって、より一層、「富士山憲章」の普及・周知を図り、美しい富士山を未来に残していくために、今後も様々な機会をとらえ啓発活動をしていきます。



Contents

今月の話題

富士山憲章ニュース

- 富士山憲章制定10周年を迎えて
- 青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会開催
- 富士山麓環境美化推進ネットワーク開催
- 大学生による清掃活動 - ボラセンリポート -

富士山レンジャーレポート

- 冬期の富士山レンジャーの活動
- 富士山から写真絵日記 - 富士山冬景色編 -

お知らせ

- 富士山関連イベント

クイズ Q?

表紙のタイトルの近くに落ちていた葉っぱは、いったい何の葉っぱでしょうか？

- ①アカマツ
- ②ソヨゴ
- ③ブナ

正解は最後のページだよ

富士山青木ヶ原樹海等エコツアー

ガイドライン推進協議会 開催

12月20日(木)、エコツアー実施団体、関係行政機関、学識経験者で構成される富士山青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン推進協議会が開催されました。

はじめに、各メンバーからガイドラインの遵守状況などについて報告が行われ、多くのエコツアー実施団体にはガイドラインが普及し遵守されている一方、一般利用者のマナーの問題として、マウンテンバイクの乗り入れが多く見受けられるなどの情報提供がありました。



つづいてガイドラインの見直し・改訂について検討が行われました。事務局より5月の現地調査及び協議会における大室山麓(ブナ広場)、本栖(石墨周辺)の利用のあり方についての検討経過が報告され、続いて「夜間のエコツアー実施」のあり方について活発な議論が交わされました。

今後も、地域の関係者が一体となって青木ヶ原樹海等の原生的な自然環境を保全し、適正で持続的な利用を目指すため、ガイドラインの遵守及び一層の普及啓発が期待されます。

富士山麓環境美化推進

ネットワーク会議開催

11月30日(金)、富士山北麓地域の企業や民間団体等と行政機関で構成される「富士山麓環境美化推進ネットワーク」会議が開



大学生による清掃活動

富士山北麓地域では、毎年、多くのボランティアのみなさんによる美化清掃活動が行われており、その活動については、この富士山憲章ニューズレターでご紹介しています。

さて、富士山の観光シーズンも終了した、昨年12月1日(土)にNPO法人富士山エコネットの主催で実施された清掃活動とエコツアーに同行しました。

当日は、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)の大学生の4名が、県道富士宮鳴沢線沿線の清掃を行い、道路脇から樹海内部に散乱していた、ペットボトルや空き缶などのゴミ、19袋(可燃物14、不燃物5)を回収しました。ゴミの中には、東京都のゴミ収集袋に入れられたものもありました。

清掃活動後、NPO法人富士山自然学校の渡辺長敬さんの解説を聞きながら大室山周辺の樹海の自然にも触れました。

美しい富士山を未来に引き継いで行くためには、若い人たちにこのような活動が広がり、多くの方に、関心をもっていただき、多くの方に富士山の環境保全への積極的に参加していただくことが必要です。

また、富士山を訪れる方には、「自分の出したゴミは持ち帰る」というマナーを守っていただきたいものです。



※ このWAVOCでは、昨年8月にも富士山北麓地域で、学生366人による大規模な清掃活動も実施しています。

(富士山ボランティアセンター 小林)

催されました。

会議では、県関係機関の取り組みや構成員等の活動状況の報告、意見交換が行われました。意見の中には、アナログ放送終了にともなうテレビ等の不法投棄やその対応策など将来にわたって問題が起こりうる可能性があり、活発な議論から構成員の皆さんの熱意が感じられました。

今年はネットワーク構成員の皆様の活動が、より一層、地域の皆様にも広がり、地域全体で富士山への不法投棄を防止するという気運が盛り上がることを期待されます。

現場
癸

第13回

富士山レンジャー REPORT

冬期の富士山レンジャーの活動

「冬はどんな活動をしているのか?」という質問を受ける事があります。富士山レンジャーは冬期も含めて通年で活動をしています。

この時期は林道や道路の冬期閉鎖などにより巡回できる場所が限られてしまいます。また、富士山に訪れる来訪者の数も夏に比べると少なくなります。そこで冬期の巡回では、来訪者に対する指導・啓発などを中心とした巡回ではなく、遊歩道や施設の点検や補修に重点をおいた巡回を行っています。富士山北麓地域にある東海自然歩道やハイキングコースなどを歩き、歩道の状況や案内標識の状態を確認します。また、この時期は夏には下草などに隠れていて気がつかなかった不法投棄物を発見することもよくあります。

巡回活動の頻度が減る冬期には、富士山環境教育活動に力を入れることができます。毎年この時期に富士山ボランティアセンターの実施している「富士山学習支援プログラム」についての広報活動を行っています。昨年度はプログラムを紹介するチラシの配布のみでしたが、今年度は富士山北麓地域の学校へ直接出向いて学習支援プログラムの広報をおこなっていく予定です。

さらに来年度に向けて、これまでの活動実績をまとめ来年度の活動の計画を立てたりする事務作業も増えてきます。植物が冬の時期に春を迎えるための準備をするように、来年度に向けての準備もおこなっているのです。



富士山から

第5回

写真絵日記

富士山冬景色
編



冬の馬返し

うっすらと雪化粧をした吉田口登山道の馬返しです。この時期は訪れる人もほとんどなく、ひっそりとしています。静けさの中で鳥の声があちらこちらから聞こえてきました。足元に目をやると、人間の足跡以外にも様々な動物の足跡がありました。この時期の馬返しは人間が主役ではなく、動物たちが主役のようです。

動物の足跡

雪が降った後、森の中ではあちらこちらで動物の足跡を見ることができます。野生の動物を直接見ることは難しいのですが、雪の上の足跡を見ていると野生動物をより近くに感じることが出来ます。写真の足跡はおそらくウサギのものだと思います。この他にキツネと思われる動物の足跡もありました。ウサギを追ってきたのでしょうか。



春を待つ植物

ダンコウバイの冬芽の写真です。ダンコウバイの冬芽は「花芽」と「葉芽」とにわかれています。枝の先端の尖っているのが「葉芽」です。その下の丸い形をしたのが「花芽」です。春に葉を出すよりも先に、黄色い綺麗な花を咲かせます。その時期には、まだ他の植物も花や葉をほとんど付けていないので、遠くからでもダンコウバイの黄色い花がよく目立ちます。今はじっと春が訪れるのを静かに待っています。

富士山関連イベント

学ぼう

守ろう

みんなの力で富士山を世界文化遺産にしよう！

○日本の象徴「富士山」を世界文化遺産に登録するためには、学術調査や図面作成など膨大な費用がかかります。是非、皆様に募金のご協力をお願いします。

募集方法: ご協力をいただける方は、下記あて電話・メールにてご連絡ください。

税法上の特別措置: 募金は税法上、法人については損金算入、個人については寄付金控除扱いとなります。

寄付者に対する優待: 一定のご寄付を頂いた方には、感謝状贈呈、特別協賛企業認定をいたします。

問い合わせ: 山梨県企画部世界遺産推進課 TEL055-223-1316 E-Mail: sekaiisan-sn@pref.yamanashi.lg.jp 富士北麓分室 TEL0555-72-4132

「富士山自然ガイド・スキルアップ・セミナー」

富士山の自然に関するインタプリテーションに役立つ科学的基礎知識—自然科学の諸分野における最新の知識と基礎を学ぶ—

第1回セミナー「火山と植生遷移」

話題: 富士山だけでなく他の火山で植生遷移の研究をされている方々をお招きし、富士山だけでなく火山での遷移の一般性を個々の火山での特殊性について考えます。

日時: 平成20年2月11日(月) 受付10:00 セミナ-10:30~16:00
第2回セミナー

日時: 平成20年2月16日(土) 受付12:30 セミナ-13:00~16:00

話題: 青木ヶ原樹海を中心とする、貞観噴火の溶岩流の地形や噴火史、野外の観察ポイントなどについて、専門家を招いて考える。

場所: いずれも山梨県環境科学研究所 多目的ホール

問い合わせ・お申し込み: 山梨県環境科学研究所 総務課

Tel 0555-72-6211 Fax 0555-72-6204

e-mail horiuchi-m@yies.pref.yamanashi.jp

お知らせ

「富士山レンジャー」を募集します！

山梨県では、平成17年度から富士山北麓の豊かな自然環境を守り、適正な利用を図るため現地の巡回業務に当たっている「富士山レンジャー」を、来年度から2名増員して4名体制とするため、新たに募集します。熱意にあふれる方々のご応募を、心よりお待ちしております。

詳細内容

募集人員: 2名

勤務場所: 県立富士ビジターセンター(山梨県富士河口湖町)

勤務条件:

- ・雇用期間 平成20年4月1日から1年間 ※以降4回まで更新可。
- ・非常勤職員(週5日 38時間勤務)

選考方法及び試験日:

- ・一次選考(筆記試験) 2月20日(水)
- ・二次選考(人物試験) 3月4日(火)[予定]

応募期間: 1月21日(月)~2月8日(金)

募集要件: 年齢20歳~60歳(H20.4.1現在)ほか

※応募方法など詳細については、下記ホームページにて

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan3776/>

<お申し込み、お問い合わせ>

観光部観光資源課 富士山山岳担当

TEL:055-223-1521 FAX:055-223-1670

クイズの答え:②のソゴです

風が吹くと葉がそよぐことから名前がつけられました。常緑樹で、冬でも青い葉を付けていることから漢字では冬青と書きます。

富士さんへ謹賀新年

入選作品展示のご案内

たくさんのご応募ありがとうございました。一月下旬の審査会を経て、入選作品は下記日程にて展示いたします。ぜひ足をお運びになって富士山への思いのこもったすばらしい作品をご覧ください。



日程	展示場所
2月 7日(木)~2月10日(日)	県立富士ビジターセンター
2月12日(火)~2月19日(火)	富士吉田郵便局
2月21日(木)~2月28日(木)	道の駅ふじよしだ
3月 1日(土)~3月 9日(日)	甲府中央郵便局
3月11日(火)~3月18日(火)	河口湖自然生活館
3月20日(木)~3月27日(木)	なかとみ和紙の里
3月29日(土)~4月10日(木)	山中湖情報創造館
4月12日(土)~4月20日(日)	三つ峠グリーンセンター
4月22日(火)~4月29日(火)	さかな公園【森の学習館】
5月 1日(木)~5月 5日(月)	県立富士ビジターセンター
5月 7日(水)~5月13日(火)	道の駅なるさわ
5月17日(土)~6月16日(月)	富士の国やまなし館(東京)

富士山憲章

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動と呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

発行: 富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山山岳担当)

TEL:0555-20-9229

FAX:0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバー、メルマガの購読は「富士の国やまなし観光ネット」へ!

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan3776>

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(山梨県と地元市町村等から構成される)によって運営されています。